

# 実習2（インターバル②） ガイダンス

資料を見ながら、各自ご確認をお願いします！  
提出課題は必須です。

3日目

■モデル演習  
相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術（ケアマネジメントおよびサービス等利用計画作成に関するプロセスの体験演習）

- ①面接・アセスメント
- ②ニーズの整理
- ③プランニング
- ④担当者会議

4日目

インターバル①

■相談支援プロセスの実践①

5日目

■ケアマネジメントプロセスの体験演習（⑤モニタリング）  
■実習課題に基づくアセスメントの検討（スーパービジョンの体験）

インターバル②

■相談支援プロセスの実践② ■地域資源に関する情報収集  
■基幹相談支援センターや協議会などへのアクセス

6日目

■実習課題に基づく再アセスメントおよび支援方針（計画案）の報告と共有（ケースレビューの体験）  
■ケアマネジメントプロセスの定着支援（前半）

7日目

■ケアマネジメントプロセスの定着支援（後半）  
■協議会の役割と活用  
■演習及び全体の振り返り

## インターバル②

- 相談支援プロセスの実践②
- 地域資源に関する情報収集
- 基幹相談支援センターや協議会などへのアクセス

### ■相談支援プロセスの実践②

1. 基本情報のアセスメント情報追加記入（朱書き追加）
2. ニーズ整理票の追加記入（朱書き追加）
3. ストレングスアセスメントシート（朱書き追加）
4. サービス等利用計画案
5. 週間計画表
6. 事例概要 要約シート（発表用）

### ■基幹相談支援センターや協議会へのアクセス

7. 「実践研究 事例への共有と相互評価Ⅰ 振り返りシート」中の「実習2の結果」欄に記入
8. 協議会調べ

### ■地域資源に関する情報収集

9. 地域の障がい福祉サービス事業所の状況

## 注意事項

# ★提出期限をご確認ください！

- 提出分とは別に「1部印刷」し、控えとして手元にご用意ください。
- 資料作成については、実習協力者（ご本人）の**プライバシー保護（個人情報保護）**に十分配慮し、ご本人・ご家族・関係者等は仮名又は匿名で記載してください。また、住所、電話番号等、個人や家族等が特定できそうな情報は極力ふせてください。
- 実習1でアセスメントを行った事例に対し、5日目の演習で出されたアイデアをもとに**更にアセスメント**を深めたうえで、サービス等利用計画案を作成してください。
- 誰が見ても読みやすく、**丁寧に記載**してください。

(手書きの場合はボールペンで記載してください)

- 事務局に提出していただいた資料はお返ししませんので、**必ずコピー等を取っておいてください。**

(提出分は原本でもコピーでも可)

# 実習2 提出課題

事務局提出分

様式	事務局用 2部	ワーク用 6部
表紙(本紙)		○
提出①(再) 基本情報 ※追加記入※カラー印刷	○	○
提出②(再) ニーズ整備 ※追加記入	○	○
提出③(再) ストレングス ※カラー印刷	○	○
提出④ サービス等利用計画 ※追加記入	○	—
提出⑤ 週間計画表	○	—
提出⑥ 事例概要 ※発表用	○	—
提出⑦ 実践問題の共有と相互評価Ⅰ 「実習2の結果」欄の記入	○	—
提出⑧ 協議会について	○	—

※提出前に不足がないか確認してください。

部数変更  
注意！

# 実習2 提出課題

事務局提出分

様式	事務局用 2部	ワーク用 6部
表紙(本紙)	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
提出①(再) 基本情報 提出記入※カラー印刷	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
提出②(再) ニーズ整理 提出記入※カラー印刷	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
提出③(再) スリシングスケート 提出記入※カラー印刷	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
提出④(再) プロセス設計表 提出記入※カラー印刷	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
提出⑤(再) 計画表 提出記入※カラー印刷	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
提出⑥ 事例概要 提出記入※カラー印刷	<input type="radio"/>	—
提出⑦ 実践 提出記入※カラー印刷 「実習2の結果」欄の記入	<input type="radio"/>	—
提出⑧ 協議会について 提出記入※カラー印刷	<input type="radio"/>	—

※提出前に不足がないか確認してください。

**掲載ミスがありましたので、  
次の説明をご確認ください。**

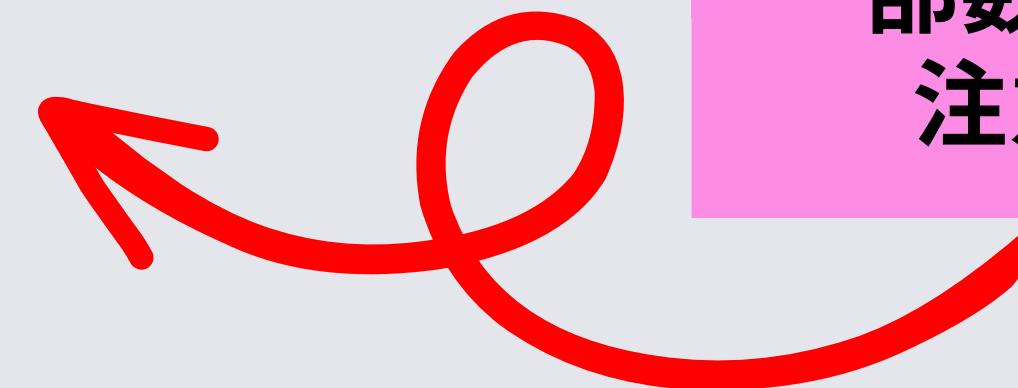
部数変更  
注意！

## 実習2 提出課題

事務局提出分

様式	事務局用 2部	ワーク用 6部
表紙(本紙)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
提出①(再) 基本情報への追加記入 ※カラー印刷	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
提出②(再) ニーズ整理票への追加記入 ※カラー印刷	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
提出③(再) ストレングス・アセスメントシート ※カラー印刷	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
提出④ サービス等利用計画案	<input type="radio"/>	—
提出⑤ 週間計画表	<input type="radio"/>	—
提出⑥ 事例概要・要約シート(発表用)	<input type="radio"/>	—
提出⑦ 実践研究事例への共有と相互評価Ⅰ 「実習2の結果」欄の記入	<input type="radio"/>	—
提出⑧ 協議会について	<input type="radio"/>	—
提出⑨ 地域の障害福祉サービス事業所の状況	<input type="radio"/>	—

部数変更  
注意!



# 実習2 提出課題

事務局提出分

様式	事務局用 2部	ワーク用 6部
表紙(本紙)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
提出①(再) 基本情報への追加記入 ※カラー印刷	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
提出②(再) ニーズ整理票への追加記入 ※カラー印刷	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
提出③(再) ストレングス・アセスメントシート ※カラー印刷	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
提出④ サービス等利用計画案	<input type="radio"/>	—
提出⑤ 週間計画表	<input type="radio"/>	—
提出⑥ 事例概要・要約シート(発表用)	<input type="radio"/>	—
提出⑦ 実践研究事例への共有と相互評価Ⅰ 「実習2の結果」欄の記入	<input type="radio"/>	—
提出⑧ 協議会について	<input type="radio"/>	—
提出⑨ 地域の障害福祉サービス事業所の状況	<input type="radio"/>	—

部数変更  
注意!

追記しています。

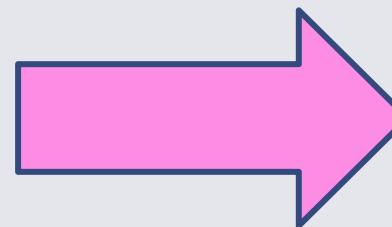
# 実習 2 の課題

提出①②③再アセスメントを行う  
演習8のグループワークで  
作成した振り返りシートの  
内容をもとに、

再度、①基本情報・②ニーズ整理票 ③ストレングス・アセスメントシートの加筆修正を行う。（実習1と文字色を変え朱書きにする、削除見え消しとするなど、変化が可視化できるようにする。）

演習8 実践研究 事例の共有と相互評価Ⅰ 振り返りシート	
記録者〔 今回の演習では発表者が記録 〕	発表者〔 〕
メモ	

# 振り返りシート



**基本情報**

氏名:福岡千子さん(50歳 女性)  
障害:筋ジストロフィー  
身体障害者手帳2級  
収入:障害基準年金、生活保護  
ジュノグラム  
2級:1ヶ月におよそ7万円弱

義兄(60)  
姉(55)  
キーパーーン的存在  
隣町に在住。

望む暮らし  
【本人】病院には入院したくない。病気が悪化しないような生活を送りたい。  
【夫】お風呂に入らせてもらおうと見せたから娘も自立してくれるかもしれない。  
★手足が前より動きにくくなって生活も辛くなったけど施設には入りたくない。  
★もっと安全なアパートに引っ越し、ペットの犬の散歩をしながら一緒に暮らしたい。  
【姉】できることはちゃんとして欲しい。入院しないで済むように生活してほしい。仕事があるからあまり妹の手伝いはできないので、ヘルパーさんがあれば来てくれると助かり。

生育歴

0	6歳	12歳	15歳	18歳	20歳	22歳	30歳	31歳	35歳	40歳	49歳
出生	小	中	私	新婚	結婚	北	文	大	院	高齢離	入
育児	母	母	母	母	母	北	北	北	北	北	居
夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫
孫	孫	孫	孫	孫	孫	孫	孫	孫	孫	孫	孫

住まい  
一般アパート・2階、間取りは3DK

仕事...  
隣町のこな福祉事業所では、誰かの役に立ちたいと思って働いた。今はうつ病が原因で休んで療養されるということを見せたい。

# 1 基本情報

社会資源・エコマップ

- 朝食(買い置きのパン・内服)
- 月に2回お通院・少量の買い物(お弁当やパン)
- 旦食(朝食+夕食・内服)
- 夕食(インスタント食・内服)
- テレビ鑑賞(音楽番組など)
- 就寝前リラックス安全管理はできる
- 毎日犬の世話をしている
- かかりつけ病院(月2回)、眼科(月1回)受診

【本人】  
自分で内服ができる  
器具を使えず少し困る  
人に配慮ができる  
どうにか自分でやる  
まじめな性格  
家庭思い  
就労歴がある  
働く意欲がある  
家電製品を使える  
洗濯と掃除(一部)ができる  
携帯電話で助けを呼べる、メールができる  
ペットの世話をできる  
裸替えが好き

【環境】  
協力してくれる家族がいる(買い物・金銭管理等)  
主治医と長年の信頼関係がある  
入院先でいた方達がいる

## 1 基本情報

## ②ニーズ整理票

# ③ストレングス アセスメントシート

# 実習2の課題

## 提出④ サービス等利用計画案作成

### サービス等利用計画案

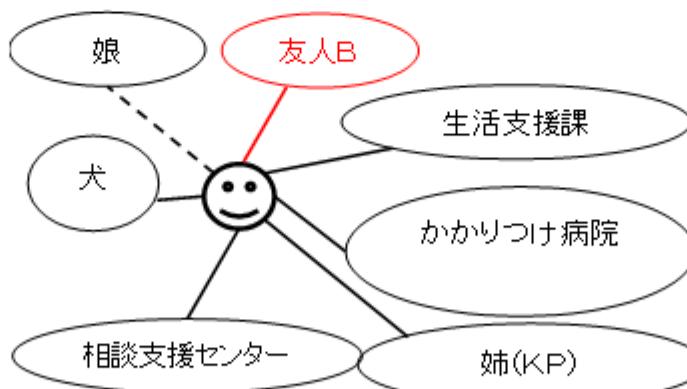
サービス等利用計画案・障害児支援利用計画案							
利用者氏名(児童氏名)		障害支援区分		相談支援事業者名			
障害福祉サービス受給者証番号				計画作成担当者			
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号					
計画案作成日		モニタリング期間(開始年月)		利用者同意署名欄			
利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)							
総合的な援助の方針							
長期目標							
短期目標							
優先順位	解決すべき課題	実現目標	達成	福祉サービス等 種類・内容・量(頻度・時間)	課題解決のための 本人の役割	評価 時期	その他留意事項
1	できる限り、その利用者らしさ、 <b>ストレングスに着目して具体的に</b> 方針・目標を立ててみましょう。				福祉サービスのみだけでなく、 <b>医療やインフォーマル資源</b> にも 目を向けて、計画に盛り込んで みましょう！		
2							

# ①基本情報

身体障害者手帳2級  
収入:障害基礎年金、生活保護  
ジュノグラム 2級:1ヶ月におよそ7万円弱



## 社会資源・エコマップ



む暮ら  
本人】病院には入院したくない。病気が悪化しないような生活を送りたい。  
【現状】見せたら娘も自立してくれるかも知れない。

★手足が前より動きにくくなっている生活も辛くなつたけど施設には入りたくない。  
★もっと安全なアパート引っ越しして、ペットの犬の散歩をしながら一緒に暮らしたい。

【姉】できることはちゃんと欲しい。入院しないで済むように生活してほしい。仕事があるからあまり妹の手伝いはできないので、ヘルパーさんが来てくれるといい。

## 生育歴

0	6歳	12歳	15歳	18歳	20歳	22歳	30歳	31歳	35歳	40歳	49歳
出生	小学校入学	中学校入学	私立高校入学	障がい者施設に入社(約2年勤)	結婚・K県に転居	女児出産	の大診断病院受診(筋ジストロフィー)	院I開始に転居	開業者・手帳生活取得保護・障害基礎年金受給開始	車いす使用開始	入退院が増える

仕事...  
18歳のころ福祉事業所では、誰かの役に立ちたいと思って働いた。今はうまく動かない体でも頑張れるということを娘に見せたい。

昔は...  
○DMだったので野菜の料理をたくさん作っていた。きれいにおいしく見える様に盛り付けにも注目していた。  
○手が動くことはできないが、金身受体給付金でも落ち込みが大きい。  
○手が動くことはできないが、金身受体給付金でも落ち込みが大きい。

- 7・起床(決まった時間に自力で起きることができる)  
・朝食(買い置きのパン・内服)  
12・昼食(身みつけご飯・内服)  
・洗濯は時間をかければできる  
・掃除はすこしならできる(ロコモクリーナーを使う)  
18・夕食(インスタント食・内服)  
・テレビ鑑賞(音楽番組など)  
・就寝(戸締り等安全管理はできる)  
24・毎日犬の世話をしている  
・かかりつけ病院(月2回)、眼科(月1回)受診

ストレングス  
【本人】  
自分で内服ができる  
装具を使えば少し歩ける  
人に配慮ができる  
どうにか自分でやろうとする  
まじめな性格  
【家族思い】  
就労歴がある  
働く意欲がある  
【環境】  
家電製品を使える  
洗濯と掃除(一部)ができる  
携帯電話で助けを呼べる  
ペットの世話ができる  
模様替えが好き  
【相談支援センター】  
協力してくれる家族がいる  
主治医と長年の信頼関係  
入院先でできた友達が多い

# 記入例

## ニーズ整理表

## ②ニーズ整理票

提出①・②は6日目のグループワークで  
グループのメンバーに配布します。  
それぞれ朱書きの追加記入がわかるように  
グループ人数分をカラーコピーして事務局  
に提出して下さい

相談支援専門員からみた必要性	①生活する上で必要なこと・課題	②「必要・課題」と思った理由や状況	③ストレングス(能力・環境)	④考え方の支援目標	⑤考え方の取組・社会資源	優先順位
	本人ができない事を支援する必要がある。自分でできる部分が増えるよう支援する必要がある。(家事を手伝ってほしい)	・米穀/バランスを考えていない。→ 野菜を包丁で切つてやきそばをつくったり、チキンラーメンをつくって食べることはできる ・掃除は1人ではできない。不潔・清潔の理解がない。 ・洗濯物が散乱している。洗剤を使わないことがある。 ・一人でスーパーで買物すると、冷蔵庫に入らないくらい買う。生鮮食品が残る。 ・家事や身辺面は、父が声かけしていたが、父が入院後は声かけする人が週2回のヘルパーだけになった	・包丁を使うことができる。 ・ガスを使うことができる。 ・声かけがあれば、風呂そうじや洗濯はできる。 ・支援者とコミュニケーション取りながらだと、本人はやる気が起こりやすい。	調理と日用品の買物、洗濯や部屋の掃除をヘルパーに依頼する	★居宅介護(週4回) 家事20~25h/回	1
	本人の住居を確保する必要がある。(新しい家を探してほしい)	・現在住んでいるアパートは2人世帯用で家賃が高い為、甲斐用アパートに転居しなければならない ・Gルームがない。 ・誰かと一緒に生活するのではなくとどう。 ・ワンルームタイプのGルームは抵抗がある。	・父が倒れて数回は1人(ヘルパーあり)で生活していた期間がある。 ・甲斐アパートが多い地域に住んでいる。 ・選択肢が2つだと迷ふことができる。 ・生活課題の担当課で行っている「住宅情報提供事業」がある。(要確認)	本人が実際にアパート物件を見る。 転居する具体的なイメージを立てる。 物件を選択できるようにする。	★後見人による賃貸契約 ★生活保護・住宅情報提供事業の活用	2
	お父さまの状態を把握し、本人が不安にならないように情報提供していく必要がある。(お父さんがどうなるか知りたい)	・「お父さんが死んだらゆたかは1人になる」とヘルパーに言うことがある。 ・病院に見舞いに行きたいと言うことがある。 ・父の状態を本人に伝える人がいない。 ・父のことがわからないと、確認行為が増え眠れない。	・わからない時は相談支援センターに電話したり、来所することができます。 ・ヘルパーに心配なことや気になることを言うことができる。	支援関係者で情報交換する。 本人が不安にならないよう配慮する。	★父の居宅介護支援事業者 ★生活保護のケースワーカーとの情報交換	3
	工賃がもらえるように本人の特性(人との関わりが好き)に応じた作業面が必要。(自分に合った場所で働きたい)	・就労経験はない。 ・人とコミュニケーションを取ることで意欲が高まる。 ・「人は仕事をして工賃をもらうのだ」という認識がない。 ・「男の人は怒る、怒る人は嫌い」などと言い、怖い男性や怒る人は苦手意識がある。 ・どれくらいの作業能力があるか実際にやってみないと分からない。 ・就労に至るまでの本人の見通しあり。 ・必要な手続や契約など理解が困難。	・常に工賃の意識 ・苦手な作業が少くてもチャレンジ ・量ができる ・包丁使える ・女性ややさしい ・支援者と一緒に ・ニコニコ夫婦	収入:年金8000円 生活保護費5000円 支出:家賃3500円 水光熱費3000円 小遣い3000円	障する。 就職活動に参加する。 就支援B型(週5回)	4
	生活費と小遣いの管理が必要。(生活費を管理してほしい)	・家賃、水光熱費の支払や引き落としなどの通知や電話が来ても理解ができない。ハニックになる。今まで父の口座で支払っていた。 ・10万円以上のお金は見当がつかない。10万円以上のお金は	・正を立った時は、紙に書くことができる。 ・生活ノートに行先や交通手段を書くことができる。	生活費等を管理してもらう。 本人のお小遣いを確保する。		

# 実習2の課題

## 提出⑤ 週間計画表作成

フォーマル（医療・福祉サービス等）・インフォーマル資源（習い事／当事者活動など）を盛り込み、1週間の流れを記入。

→ 月～日の欄に記入

本人の1日の生活の流れ（起床・就寝・食事・入浴など）も記入。

→備考欄に記入

# 週間計画表

実習ガイダンス 提出⑤

## 週間計画表

## 実習2の課題

### 提出⑥ 事例概要 要約シート記入（発表の準備）

次回の研修においてケースレビューを行います。

7分間で以下の要領で概要を発表できるよう準備をする。

- ① 再アセスメントの結果変化したところとその要因
- ② サービス等利用計画作成案の際留意した視点
  - ・社会資源やチームメンバーの選定意図や留意した点
  - ・基本的視点と照らし合わせ留意した点
- ③ 再アセスメント、プラン作成にあたり、困難・疑問を感じた点

※単なるシートの読み上げとならないよう、端的に報告する。

#### 「事例概要 要約シート」

相談支援従事者初任者研修 事例概要・要約シート

事例概要（事前課題で取り組んだ事例について、下記の注意事項を参考に要点をまとめて下さい）

①再アセスメントの結果、変化したところと、その要因

※基幹相談支援センター、委託相談支援事業所等へアクセスして得られた結果も踏まえて記入

②サービス等利用計画案作成の際、留意した視点

③再アセスメント、プラン作成にあたり、困難・疑問を感じた点

## 実習2の課題

提出⑦ 基幹相談支援センター、委託相談支援事業所へアクセスする。  
～地域における実習～

「実践研究 事例への共有と相互評価！  
振り返りシート」をもとに意見交換し、  
**「実習2の結果」欄**に記入しシートを完成  
させる。

★実習先は「地域における実習について」参照

※注意

地域実習後に課題提出となるため、提出日を確認のうえ

実習日の調整を行ってください。

もし、提出日より実習日が遅くなる場合は、提出遅延報告書  
(HP掲載)を提出してください。遅延の場合も研修6日目の  
6日前までに課題到着が必要です。

### 演習8 実践研究 事例の共有と相互評価Ⅰ 振り返りシート

記録者（今回の演習では発表者が記録）	発表者（）
メモ	
実践例を提出してみての自身の気づき、得られた新たな視点や知識	
<b>研修テキスト「5日目演習様式」 9ページを用いてください。</b>	
実習2で行う取り組み（目標）	
実習2の結果	

# 実習2の課題

## 提出⑧ 協議会調べ

事前に所属機関エリアの協議会（自立支援協議会）を調べ、シートを作成する。

シートをもとに協議会事務局や基幹・委託相談支援センター等と意見交換し得たものを加筆し完成させる。

福岡県は全ての地域・圏域に「協議会」が設置されています。  
各自治体のHPや担当課、**基幹・委託相談支援センター**に問い合わせるなどして調べてみてください。

### 「自立支援協議会について」事前課題

職場の所属する地域の自立支援協議会について、項目ごとの具体的な状況を書いてください。

地域の状況について不明な点は自立支援協議会のHPや行政、協議会事務局等で調べてください。

※5日目の演習で調べた内容をグループ内で発表していただきます。

所属圏域：\_\_\_\_\_

受講番号：\_\_\_\_\_ 氏名：\_\_\_\_\_

#### 自立支援協議会について、地域の状況

項目	状況	気づいたこと
自立支援協議会の名称	(例) ○○市協議会、△△圏域協議会	
協議会、協議会に 関わる会議等への 参加状況	(例)・総会に出席したことがある ・協議会の○○ネットワーク会議に参加した ※参加したことが無い場合は会議の種類を記入	
協議会の構成や運 営について	(例)・相談支援事業所と町役場が事務局、 ・月1回事務局会議が開催されている	
協議会の取り組み	(例)・就労に関する部会があり、関係機関とのネットワーク づくりに取り組んでいる	

## 実習2の課題

福岡県は全ての地域・圏域に「協議会」が設置されています。  
各自治体のHPや担当課、**基幹・委託相談支援センター**に問い合わせるなどして調べてみてください。

### 提出⑨ 地域の障害福祉サービス事業所の状況

地域の障害福祉サービス事業所の状況を記入  
(事業所の特色や資源の充実など)

実習1-提出⑧

地域の障害福祉サービス事業所の状況 →情報入手先( )

受講者自身が所属する地域(圏域)にある各種**サービスと特色・資源**について、調べてください。  
**事業所名称を伏字にする必要はありません。**

居宅・居住系サービス	(例)居宅訪問介護事業所フクオカ:行動援護が可能な男性ヘルパーがいる。
通所系サービス	(例)児童発達支援事業所フクオカ:言語聴覚士による支援が受けられる。

# ダウンロードアドレス

<https://hokenfukushi.or.jp/training/wel01/>  
課題ファイルよりダウンロードください。

各様式の記入例はテキスト巻末に  
ありますので、ご活用下さい。



# 提出期限

A日程：11/17（金）17時必着

B日程：11/24（金）17時必着

事務局に郵送にて送付してください。

（1部ずつホッチキス止め）

FAXでの受付はできません。

締め切り日は厳守をお願いします。

期日までにご提出がない方は、受講の取り消しをさせていただく場合がございますので、ご注意ください。

# 送付先・送付方法

送付の際は、封筒に

相談支援従事者初任者研修 演習提出資料送付 と朱書し  
封筒裏面に 受講番号と氏名を記入してください。

## 送付先

〒812-0016

福岡県福岡市博多区博多駅南4-2-10-5階

(一財) 保健福祉振興財団 福岡支部

相談支援従事者研修 課題提出係



提出期限

提出部数

ご注意ください！

(必着日をご確認ください)